

鈴木ひでなおの 12月議会報告

補正予算

リリックのホール棟解体に向けて

解体工事に伴い、屋上のキュービクルを地上に移して更新する。(約1億円)
・その他、中学校統合のための改修費約1,660万円の減額(駐輪場を新設ではなく、改修とする)

パトリアの方向性が示される



- ・パトリアは存続する
- ・その他の老朽化した町の施設をパトリアに複合化・集約化する
- ・貸室には、個別のエアコンを設置する。

◎コンサートをはじめ、芝居・講演等多目的に使えるホールは残ることに。しかし、老朽化した風呂やプールの存続は難しいので、コンサルを入れて検討すること。
素晴らしい施設、有効活用させたい。

★ 第11号 ★

発行 令和7年1月20日

発行及び編集人

鈴木ひでなおを育てる会

④ 3つの質問をしました

※質問と回答は、要旨です。「原文通り」ではありません。

Q1 オーガニックビレッジ宣言の推進

- ①全庁をあげて取り組めないか。
- ②有機農業で作った米を町立保育園や学校給食に使うようにできないか。

A1 環境農林課課長

① 有機農業実施計画に基づき、関係各課と連携して取組んでいます。例えば、栽培講習会の開催や農業資材の実証実験、地域資源を活用した堆肥や液肥の利用拡大、地元レストランでの有機農産物の利用促進、マルシェ・農産物直売施設等での販売促進等、生産から消費に繋がるように努めています。

② 実現の可能性を研究し、町内事業者の協力を得ながら取組みます。

Q2 環境基本計画の趣旨を生かした取組を

- ① 住環境を損なう動きが見られるが。
- ② 河川の水質改善は。

A2 環境農林課課長

① 下里地内のパチンコ店跡地の有価物置場については、県と連携し、ヤード法に則って指導していきます。地元の要請があれば、説明会等を求めます。

② 河川の水質検査では、環境基準値以内で水質は良い状態です。それを維持していくには生活排水や工場排水の適正な処理が必要です。環境基本計画にあるように町と事業者、地域住民の取組と連携が重要です。例えば、毎年春に行う河川清掃や小中学校での出前講座等です。

Q3 高齢者の補聴器購入に補助を

- ① 高齢者のフレイル予防の観点から町として助成できないか。

A3 長生き支援課長

① 補聴器は、その人の聴力に合わせて何度も調整を行う必要があり、価格も高価です。補聴器購入の補助をしている自治体の助成制度の取組について研究していきます。

質問を終えて…

私の所感

◎オーガニックビレッジ宣言の推進も環境基本計画の取組も、町だけが進めるのではなく、住民や事業者が共に進めていくことを例をあげて提案した。

- ・耕作の要である土作りに必要な堆肥の素になる残菜や落ち葉を住民も集めるようにできないか。
- ・遊休農地や耕作放棄地を再生するには大変な労力がいる。その際、ボランティアを募れないか。
- ・河川清掃の際、意義を示した上で活動をしてはどうか。…etc.

町を挙げて取組むようにしたい！

今後の私の検討課題

【町づくりは、住民とともに】

旧上野台中の活用について振り返れば、(コロナ禍ということもあったと思われるが)住民への説明会はなく、代表による協議会はもたれたものの、リモートの実施もありいつの間にか決まって、現在に至っている。

重要案件は、町が成案化してからパブリックコメントをするのではなく、住民も入れて、一から共に協議しながら作っていくようにすべきではないか。町民が直接町政に参加できる仕組みができれば、町の活性化は進む。町を愛してやまない多くの住民がいるからこそ、実現させたい。

ご意見・ご要望は

marusu745340@gmail.com

070-5374-5891



YouTube

☆YouTubeで町の文化や行事、心に感じる思い、私の考え方などを配信しています。

ぜひ、ご覧になってみてください。



3つの政策の進捗状況

1 自然環境を守る

254バイパスの中爪橋沿いに保管された**有価物**が、置き場の**塀を超して積み上げられて**いました。町に厳重指導を要請し、事業者は指示に従い数日かけて是正しました。

「有価物」☞産廃ではないが、鉄や金属くず、非鉄金属、樹脂
プラスチック、ビニール、古紙類等が含まれる。



また同所、内洞沢側の斜面が崩れ、ブルーシートで覆われましたが、その後放置。適切な措置を求めていきます。

2 子育てをサポート

小川町の「こども計画」の素案ができました。パブリックコメントが1月8日から2月7日まで行われます。

私としては、学童に行かない高学年児童、部活に所属していない生徒、長期休業中の子どもたちの居場所づくりを求めていきたいと思います。

3 高齢者をサポート

高齢者の交通手段としての移送サービス事業の存続を目指します。

やればできる!?

昨年、私は議会活動の合間をぬって、新たなステージに挑戦しました！

- ・東京新聞と俳優座のコラボ企画「いきなり俳優」に応募し、11月に山田太一作『沈黙亭のあかり』の舞台に立ちました。

- ・不登校の児童生徒の自立支援施設での経験から脚本を作り、12月に児童劇の脚本研究会で発表しました。

- ・小川芸術祭に参画し、一部屋を企画して、地元作家の作品を展示しました。

※今までやりたかったことを実現できました。この経験を町民皆さんの生きがい作りに生かしたいと思います。

ヤオコーみどりが丘店にある

町の「情報発信コーナー」をご存知ですか

風船爆弾イメージ



小川和紙が戦争にかかわった歴史を展示します。

- ・前半 1月15日(水)～21日(火)
「風船爆弾とは」
- ・後半 1月22日(水)～28日(火)
「小川和紙が風船爆弾となって」

のぞいてみませんか！

(入場は無料です。)

大人のための小川学セミナーがあります (申し込みは学校教育課へ)

1月24日 (金)

午後5時半～7時

中央公民館 (リリックおがわ)



世界無形文化遺産に細川紙の手漉き技術が登録されて10年

関係者の努力や伝統技術を継承する意義について考えます。

講 師

細川紙技術者協会会長 内村 久子氏
(なんと、東小川にお住まいです)
小川町立図書館館長 新田 文子氏
細川紙技術者協会事務局 安田 義治氏

